09
-北部-

園田 滉樹（そのだ こうき）
帽子屋「josui」代表

応募のきっかけは？

日本一周の旅をしながら、全国をあちこち周っていました。萩市にも何度か来たことがあり、知り合った家具職人の手伝いをしていたこともありました。長期的に住んでみたいと思うようになり、協力隊とも知り合い、情報を得て応募しました。

どんな活動をしたいと思っていましたか？

林業に興味関心があり、全国のいろいろなところで経験していました。地域によって植える木も違い、林業のやり方も異なる。萩市で自伐型林業をするからには、その土地に合ったやり方で活動したいと思いました。

着任してみて、想像と違っていたことはありましたか？

アグレッシブに動けるイメージでしたが、実際には予算がないと何もできないという思考に陥ってしまったこともありました。やりたいことと求められることの違いなどは感じました。

隊員時代の思い出を教えてください

着任1年目は特に明確なミッションがなかったので、自分で決めて、行政の許可をもらって動きました。2年目からは、街をより良くしたいという志を持つ、若く熱心な行政の方と知り合い、活動内容を理解していただいたことで、行政のメリットも考えて動くことができました。

とにかくアイデアを出して、実行することです。人を変えることは難しいということはよく分かっていたので、相手が変わらなければ、自分が変わろうと思っていました。そういう考え方は、いろいろなところを旅していた時に身に付けました。そして、それが非常に役に立ちました。

隊員時代：福栄小中学校での木工体験

現在、そしてこれからについて

任期中に結婚し、娘が産まれました。近所に子どもが少ないため寂しいですが、地域の人は優しい方たちばかりなので助かっています。

妻と共に帽子屋「josui」を起業しました。商品は主に、エクアドル産パナマハットや国産木材を使用したハットスタンド、麦わら帽子です。帽子製作の編み、木型製作、型入れ、ミシン仕上げの技術を磨き、妻のデザインした帽子に形を与え、日本中の方が僕たちの帽子を買えるデジタルな仕組みを作り、アナログな手仕事でこのデジタル社会を生き残りたいと思っています。

隊員を目指す人や後輩に伝えたいこと

予算に執着せず、やりたいことは身銭を切ってでもやることです。イメージするだけで終わらせず、形作るために必要であれば、買える範囲で買ってください。

園田 滉樹さん（そのだ こうき）

協力隊として

着 任 地	萩市
活動期間	2019年3月～2022年2月
活動内容	自伐型林業及び森林資源利活用に関する活動

現在の仕事

帽子屋「josui」代表

隊員時代：
川上保育園での「木のかけらアート体験」

園田さんのあゆみ

- 2019.03 協力隊着任
- 2019.05 林業即戦力短期育成塾受講（5月～9月）
- 2019.10 木工技術習得のための研修開始
- 2020.08 萩市ビジネスチャレンジサポートセンター「はぎビズ」での商品開発
- 2021.03 結婚
- 2021.04 「はぎビズ」で起業準備
- 地域木材を使用した木育活動実施
- 2022.01 協力隊卒業
- 2022.02 エクアドルでの帽子製作
- 2022.03 帰国
- 2022.04 「josui」開業
- 沖縄、山口、名古屋、神戸、長野で展示販売会開催